

平成 26 (2014) 年度 図書館活動報告

横須賀明光高校図書館 (生徒会 G)

* 図書館の利用状況

貸出数 生徒貸出数 1863 冊 (25 年度 3302 冊)
職員貸出数 1009 冊 (25 年度 1128 冊)

分類別貸出統計 (PC を通して正規の手続きで貸出された冊数)

	0 総記	1 哲学 宗教	2 地理 歴史	3 社会 科学	4 自然 科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	その他	合計
生徒	6	36	27	83	25	43	13	867	92	650	21	1863
職員	6	29	50	87	30	26	17	396	18	317	32	1009
合計	12	65	77	170	55	69	30	1263	110	967	54	2872

* 7 類 (芸術) はコミックを含む

曜日・時間帯別貸出統計

	月	火	水	木	金	土	合計
8:00	6	5	1				12
9:00	11	15	4	4	26		60
10:00	42	25	18	20	28		133
11:00	58	47	37	15	33		190
12:00	69	122	74	99	41		405
13:00	239	180	206	264	177	2	1068
14:00	54	34	59	26	66		239
15:00	32	19	34	28	61		174
16:00	80	112	72	70	126		460
17:00	27	17	20	8	46		118
18:00		4	3	2			9
19:00					4		4
合計	618	580	528	536	608	2	2872

* 蔵書統計 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

蔵書冊数 26923 冊
年間受け入れ冊数 774 冊
(内訳) 私費購入 683 冊
県費購入 86 冊
寄贈 5 冊

費目	0 総記	1 哲学 宗教	2 地理 歴史	3 社会 科学	4 自然 科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	その他	合計
県費			7	15	6	1		6	1	1	49	86
私費	27	36	29	79	34	52	22	166	45	145	48	683
寄贈						1			2	2		5
合計	27	36	36	94	40	54	22	172	48	148	97	774

* 授業利用

日本史 国際課題研究 子どもと文学 国語表現 社会福祉演習 ボランティア学習 他

* 購読雑誌・新聞

新聞：(4紙)

朝日新聞・毎日新聞・神奈川新聞・スポーツニッポン(図書視聴覚費で購入)

読売新聞(県費で購入の職員室用を1日遅れで利用)

1年間保存

***スポーツニッポンは27年度から購読停止**

月刊誌(23誌)

ニュートン・ナショナルジオグラフィック[日本版]・イングリッシュジャーナル・
ディズニーファン・スクリーン・スマッシュ・セブンティーン・ジッパー・ポップティーン・
チョコチョコキ・アニメディア・インロック・ファインボーイズ・NEWSがわかる・
ダヴィンチ・バンドジャーナル・ヨコハマウオーカー・福祉ニュース・保育と幼児教育・
陸上競技・ZONE・ジュノン・明星

隔月・季刊誌(4誌)

マイシャ・スッカラ・演劇ぶっく・クウネル

週刊誌・隔週誌(2誌)

オレンジページ・ファミ通

* 雑誌は3か月間保存(「福祉ニュース」・「保育と幼児教育」・「NEWSがわかる」は1年間)

* 斜字体は27年度末で購読を中止した雑誌

* The Japan Times STの購読を開始したほか、購読雑誌も数誌入れ替えを行う。

* 図書館行事・活動他

- 新入生オリエンテーション
- 文化祭参加
- 図書館報「M. H. TIMES」を発行(3回)
- 高校生書評大会(神奈川県主催)参加
- 高校生書評大会(東京都主催)参加
- 高文連「第3回図書館報コンクール」に参加
- 高文連「第3回ビブリオバトル」に参加
- ベストリーダー表彰

* 反省と課題

- 言語系・自然科学系の本に古い書籍が多いので、除籍または買い替えを検討する。
- 福祉科・国際科の専門校らしい、各科の専門に特化した選書のため、教科との相談・連携の機会を多く持ちたい。
- 参考図書の改訂版を買い替える。
- なるべく10進分類法に沿った書架整備を行い、どうしても無理な場合は、分かりやすい別置記号やラベル等を付加するなど、生徒が自力で本を探しまた戻せるような書架づくりを工夫したい。
- 年度始めはG業務で司書が図書館に不在となる時が多く、また、利用環境の整備に取り組めず、オリエンテーションを聞いたばかりの新入生がすぐに入れないことが多い。
せっかく図書館に興味を持っている生徒に対応できないのは残念であり、図書館に常駐し慣れない新生に対応できるように業務との折り合いをつけられるよう検討したい。
- 国際交流や学校行事が盛んな学校であり、生徒が下調べ等が出来るような選書・書架づくりを行い、図書館としての支援を行いたい。